

# 屋内外運動場、土日は児童クラブに

## 設置目的が異なり難しい



ふじい せいしち 藤井 精七 議員

屋内外運動場運営管理の進捗状況は

**藤井** 東日本大震災、原発事故という不幸から立ち上がり、矢吹町が幸福へと向って進んでいる道しるべにもなる施設です。

施設の有効利用のためにも、各小学校の父兄の皆さんが土、日曜日休みとは限りません。児童館があればいいのですが、放課後児童クラブの要素は取り入れられないか。

**教育長** 屋内外運動場については、平成27年3月末の使用開始に向けて工事を進めております。放課後児童クラブの要素は取り入れられないかとのおただしであります。屋内外運動場は子供と保護者が一緒に遊び、遊を基本としており、遊びを通して子育てや親

子の触れ合いを感じる施設として位置づけております。

設置目的が異なりますので、本施設の放課後児童クラブとしての恒常的な活用を図ることは難しい状況にあります。

**県道矢吹―石川線、矢吹―須賀川線歩道の整備計画は**

**藤井** 県道ですが、利用者も多くは町民です。町としても整備実現に向けて頑張っている。ただいておりますが、なかなか現在、先が見えません。

この県道の路線の計画は、町はどのように捉えているのか伺います。

**町長** 両路線は、阿武隈高原自動車道、東北自動車道、福島空港などのアクセス道路とし

て大変重要な路線であり、近年、大型車両の通行も多く、交通量もますます増加しております。また三神地区の通学路に指定されており、歩道の未整備箇所も多く、地域住民の日常生活や児童、生徒の登下校時には非常に危険な状況との認識をしており、整備促進、予算の確保など、県に対し引き続き強く要望してまいります。

**大規模農家への支援策を**

**藤井** 市販のミネラルウォーター120円、ペットボトルに入る米約400グラム48円、半分以下田園の町、矢吹。今暗雲が立ち上っております。この雲を少しでも取り払うためにも、大規模農家、担い手農家への力強い支援策が必要と考えておりますが、町長の思いは？

**町長** 支援策として、平成27年度の水稲用種子購入費について2分の1の金額を助成し、水田の再生産を推進するほか、経営所得安定対策及び、水田活用の直接支払交付金の活用を促進し、認定農業者への認定要件の緩和と、ナラシ対策の加入

促進を行ってまいります。さらには、多面的機能支払交付金を活用し、耕作放棄地の未然防止及び解消を図るとともに、農家が担っている多面的機能や地域の活性化などの取り組みを進めてまいります。



三神地区 県道交差点改良工事